

編集後記

評価づくめの年度が終わり、一息していると桜が咲き出しました。今年度の広報委員の物性研だより担当は、わたくし URA と、もう 1 年松田さんになって頂き、ホームページの一新も含めた情報発信について取り組んでいきたいと思います。

外部評価の内容については次号で掲載される予定ですが、今後の物性研の融合領域研究を進める取組として、部門・施設を横断したグループの導入についての評価も受けました。今号では、そのグループの 1 つである量子物質研究グループで研究対象となる、強相関係における将来展望について幅広く意見を求めた短期研究会「量子物質研究の最前線」の報告があります。もう 1 つのグループの機能物性グループの研究も昨年 3 回に渡り行われましたが、これらも機能をキーワードに分野を跨いだ企画で、物性やマテリアルサイエンスという言葉でもカバーできない、幅広い領域の先端研究の大きな流れを勉強する良い機会だと感じます。「量子乱流と古典乱流の邂逅」の研究会でも、物性物理学、流体力学と数理学の間の研究協力が目的とされています。この記事の中で「物性物理学と流体力学の研究者の接点や交流がほぼ皆無」と書かれていますが、前号のインタビュー記事の本間氏の言葉「流体力学がほったらかし」を思い起こされました。これまでも行われていなかったわけではない異分野間の交流ですが、今後も本腰を入れた取り組みが、物性研だけでなく全国で進んでいくことになると思われます。

今号の記事の中で、研究以外として印象的だったのが、Martin さんが音楽の夕べに参加した際に、演奏でも有名な偉大な物理学者たちを思い起こすところです。物性研の持つ多様性の中でも貴重な一面かもしれないですね。

鈴木博之

物性研だよりの購読について

物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 送付停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp